

第1回制御部門マルチシンポジウム

木 田 隆*

* 電気通信大学大学院 情報理工学研究所 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
 * Graduate School of Informatics and Engineering, University of Electro-Communications, Chofu, Tokyo, Japan
 * E-mail: kida@mce.uec.ac.jp

JL 0009/14/5309-0869 ©2014 SICE

制御部門では2014年3月4日から3月7日において、東京都調布市にある電気通信大学で、第1回制御部門マルチシンポジウム(MSCS2014)を開催いたしました。実行委員長としてその概要を報告させていただきます。このマルチシンポジウムは長く親しまれてきた制御部門大会(最終回が九州で開催された第13回制御部門大会)に、これまで部会・調査研究会単位で開催してきた4つのシンポジウム(これらも長い歴史をもっていますが)：

- 第42回制御理論シンポジウム
- 第5回プラントモデリングシンポジウム
- 第14回適応学習制御シンポジウム
- 第31回誘導制御シンポジウム

を、統合して新設されたシンポジウムで、各分野間あるいは他分野との交流を促進することを目的として数年にわたって部門運営委員会で慎重に準備されてきたものです。第1回マルチシンポジウムでは(今回の大会テーマ:ダイバージする制御)、4つのプレナリ講演:最先端数理モデリングの理論と応用(合原一幸先生:東大)、イプシロンロケットの挑戦(森田泰弘先生:JAXA)、制御システムセキュリティの国内動向(新誠一先生:電通大)、および、Opportunities and Challenges in Control Systems Design Arising from Ubiquitous Computation and Communication(J. S. Hespanha先生:カリフォルニア大)を企画しました。また、シンポジウム1日目は制御部門大会と同様にワークショップが、2日目以降は、学生・企業ポスタセッションと12のオーガナイズドセッションを含む一般講演(7会場)が行われました。最終的に研究発表の総数は297件(講演252, 学生ポスタ38, 企業ポスタ7)であり、このうち制御理論シンポジウムの発表件数が130件と過半数を占めていることが印象に残りました。また、参加者総数は495人(技術交流会参加者は190人)と盛大なシンポジウムとなりました。マルチシンポジウムの会場で、木村賞(石井秀明先生:東工大)、パイオニア賞(蛭原義雄先生:京大)、パイオニア技術賞(酢谷慶治様:本田技術研究所)の受賞記念講演が行われたことも併せてご報告しておきます。会期中は、生憎、例年にない厳しい木枯らし・雨天でしたが(一部会場の暖房設備の故障でご迷惑おかけいたしました)大勢のご参加をいただき有難うございました。

シンポジウムの運営は、部門主催という趣旨から、制御部



図1 プレナリ講演 (J. S. Hespanha先生)



図2 プレナリ講演 (合原一幸先生)

門運営委員各位にプログラム・企画・広報・会計委員をお願いいたしました。また総務委員は電気通信大学の先生方を中心にご担当いただきました。多くの課題も残されていると思いますが、委員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

第2回制御部門マルチシンポジウムは2015年3月に、東京電機大学東京千住キャンパスで開催される予定で計画が進められています。多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

(2014年7月31日受付)